年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　家庭　　科目：家庭基礎

教　科：家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　2　　年次　①②③④⑤⑥⑦

教科担当者：①太田礼子　②原田祐子　③成岡美和　④松山葵　⑤座喜味成子　⑥三宅忍　⑦奈良智子

使用教科書：（ 第一学習社「高等学校家庭基礎」 ）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】　人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付ける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	・ライフイベントや人生の転機、あるいは家族の変化や社会変動などによって生じる課題を乗り越える際に、誰もが同じような方法や選択で達成するのではなく、その時の身近な他者や社会とのかかわりを通して一人一人が異なる過程をたどり、様々な生き方があることを理解する。	１章　これからの生き方と家族 １節　生涯の生活設計 ①生涯発達する自分 ②青年期を生きる ③キャリアの形成 ④ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽを求めて ２節 家族家庭と社会とのかかわり ①家族家庭世帯 ②家族家庭の働き ③ﾊﾟｰﾄﾅｰと出会う ④結婚と変化する家族 ⑤家族に関する法律	【知識及び技能】 ・人生にはﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞごとに課題があることを理解し、その課題に取り組むための知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人の価値観、生活感はさまざまであり、生き方も人によって異なるという考えに立って世代や文化の違いを超えて人の立場や気持ちを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多様な家族への支援の充実が求められていることについて関心を持ち、問題解決をはかろうとする意欲が見られる。	○	○	○	4
	・子どもはこれからの社会を築いていくという視点から、子どもを産み育てることの意義や地域の一員として子どもの成長に関わることの意味について考えることができる。 ・乳幼児の身体の発達や運動機能などの発達の概要を理解する。	２章　次世代をはぐくむ １節　子どもの発達 ①次世代をはぐくむ ②命のはじまり ③乳幼児の体の発達 ④乳幼児の心の発達 ２節　子どもの生活 ①親と子のかかわり ②乳幼児の生活と安全 ③子どもの成長と遊び ３節　子育て支援と福祉 ①地域社会と子育て支援 ②未来を担う子どもの権利	【知識及び技能】 ・乳幼児期での運動機能面、認知、情緒、言語面の著しい発達を踏まえ、それぞれの発達過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもを産み育てることの意義について理解し、子育てにおいて何が大切であるかを判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの身体と心の発達に関心をもち、その特徴を把握することに意欲が見られる。 ・日常生活の中で、子どもとどう接していけばよいかということに関心をもち、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	・長くなった人生を可能な限り充実させるには何が必要で、自分たちはどう老いていきたいかを考える。 ・高齢者の身体的特徴と心理的特徴の概要について理解する。 ・社会的制度、社会福祉の基本的な理念、ともに支えあって生きる社会の考え方について理解する。 ・食事の役割を認識し食が心身を育む上でも大切なものであることを理解する。 ・現代の食生活の実情を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。	３章　充実した生涯へ ①超高齢社会を生きる ②人生のなかで高齢期をとらえる ③高齢期の生活　④高齢社会を支える　⑤充実した高齢期へ ４章　ともに生きる ①社会保障制度と社会的連帯 ②人の多様性と社会参加 ５章　食生活をつくる １節　人の一生と食事 ①私たちと食事②健康に配慮した食生活　③食生活の変化 ④持続可能な食生活	【知識及び技能】 ・高齢者の身体的心理的機能の特徴を理解している。 ・高齢者の生活実態を把握し、課題解決のため年金制度などについての基本的知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探り、超高齢社会のあるべき姿を考え、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者の生活に関心を持ち、高齢化を自分自身の問題としてとらえ、意欲的に取り組む態度が見られる。	○	○	○	16
後期	・健康な生活を送るうえで必要な栄養素とその主な働きについて理解する。 ・各食品の保存方法を理解する。 ・消費期限、賞味期限をもとに食品を正しく選ぶ力を養う。 ・主菜と主食をまとめてとれる、ご飯を主体とした単品料理の作り方を身につける。	２節　栄養と食品 ①人体と栄養　②炭水化物 ③脂質　④たんぱく室　⑤無機質（ミネラル）⑥ビタミン　⑦し好食品と健康増進のための食品 ３節　食生活の安全のために ①食品の選択と保存 ②食品の安全と衛生 ４節　食生活をデザインする ①栄養バランスのよい食事 ②食品群と摂取量のめやす ③ライフステージと食事 ④献立作成の手順　⑤調理の基本調理実習	【知識及び技能】 ・食生活に必要な基本的な知識を身につけている。 ・献立作成や調理の基本を身につけ、食生活の充実向上のための基本的技能を発揮することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活を振り返り、課題を見出し、見直しをはかることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・栄養素の種類や働き、食品の正しい選択を理解した上で食生活に応用しようとする意欲が見られる。 ・自分で献立作成、調理ができること、それを家族や知人のために役立てることに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	・被服の持つ機能を生かし、望ましい着装について考える。 ・洗濯方法の特性を理解し、品質に応じて洗濯することを学習する。 ・衣生活の面からできる環境に負荷を与えない行動を考え、実践する。	６章　衣生活をつくる １節　人の一生と被服 ①私たちと衣生活 ②被服の機能　③被服の選び方 ２節　被服材料と管理 ①被服の素材　②洗濯方法と表示 ③洗濯のしくみ④被服の手入れと保管 ３節　これからの衣生活 ①衣文化の継承と創造 ②持続可能な衣生活	【知識及び技能】 ・衣生活の充実、向上のための基礎的基本的な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの被服の洗濯を振り返り、よりよい洗濯の方法について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・環境に影響をおよぼしにくい洗濯方法について考え、取り組んでいる。	○	○	○	12

	・安心して住めるよりよい住環境を整備するために、どのような工夫が必要か考える。 ・自然災害や人的災害への対策、家庭内事故防止の安全対策について、具体的にどのような対策が必要か考える。 ・消費者として責任ある消費行動を取っていこうという態度を養う。 ・持続可能な社会の実現のために、環境にやさしい消費行動を具体的に考える。	7章　住生活をつくる 1節　人の一生と住まい ①私たちと住まい②平面図の活用 ③長く住み続けるために 2節　住生活の計画と選択 ①快適で健康な住まい ②安全で安心な住まい ③持続可能な住まい ④住まいと地域社会のかかわり 8章　経済生活をつくる 1節　私たちの暮らしと経済 ①人生とお金②収入と支出のﾊﾞﾗﾝｽ ③将来の経済生活を考える 2節　消費者問題を考える ①契約②消費者問題はなぜ起こる ③多様化する支払い方法とﾘｽｸ防止 ④消費者の自立と行政の支援 3節　持続可能な社会をめざして ①消費生活と持続可能な社会 ②消費者市民社会をめざして	【知識及び技能】 ・住まいの機能、健康に配慮した室内環境づくり、衛生管理に関する基礎的知識、基本的技能を身につけている ・消費者としての必要な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・災害対策及び家庭内事故の安全管理のために必要な住まいの条件について思考、判断できる。 ・問題商法によるトラブルの原因を探り、解決策を見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自宅の家具配置の改善や住まいの維持管理の対策を講じることに意欲が見られる。 ・環境にやさしいエシカル消費を実践する態度を身につけている。	○	○	○	10
							合計 58

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和6年度　教科：　家庭　科目：住生活

教　科：家庭　科　目：　住生活　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１～４　年次　①②③

教科担当者：①真野田美子　②座喜味成子　③谷口百仁加 、松山葵

使用教科書：（ なし ）

教科　家庭　の目標：

【知識及び技能】　人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　住生活　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠にに基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分の家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A地域学習 【知識及び技能】 パソコンを使って検索したり、　フィールドワークの行動計画を立ててる。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことをワークシートにまとめ、発表する 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 パソコン使った調べ学習とフィールドワークにより、学校周辺施設や環境について知る。調べたことやフィールドワークで知り得たことを1枚のシートにまとめる。また、他者の発表や掲示物から学習をより深める。 【教材】 ワークシート、パソコン等 【一人１台端末の活用】 学校周辺施設についてパソコンで調べ、「検索」「情報収集」の力をつける。	【知識・技能】 パソコンを使った調べ学習やフィールドワークを行う為に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 調べたことや集めた情報をまとめ、自分なりの表現でワークシートにまとめることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	6
	B 住居を快適にする制作実習 ・モビール ・レジン細工 ・クリスマススワッグ ・廃油で作る石鹸 【知識及び技能】 制作過程を理解し、制作に必要な技術を体験的に身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品例を観察したり、制作で取り扱う材料の特性を知り、それらを使って自分なりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 制作物の作り方や取り扱う材料の特性を提示し、制作物に取り組ませる。 【教材】 ・モビール：画用紙、鋏、カッター ・レジン細工：UVレジン液、UVライト、押し花、など ・クリスマススワッグ：学校内の植栽、リボン、針金など ・廃油石鹸：廃油、石鹸のもと、シリコンモールド 【一人１台端末の活用】 制作物の作品例や取り扱う材料の特性や特徴を調べさせる。	【知識・技能】 制作過程を理解し、制作に必要な技術を体験的に身に付けている。 【思考・判断・表現】 作品例を観察したり、制作で取り扱う材料の特性を知り、それらを使って自分なりに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	14

後期	C.インテリア（講義と実習） ・整理整頓 ・掃除 ・カラーコーディネート ・インテリアコーディネート 【知識及び技能】 快適な住居を自分でコーディネートし、管理できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 インテリアに関して体験的に学習したり、有資格者による講演の中から得た知識を使って自分なりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 有資格者による講演や体験的な実習を通してインテリアについて学習する。 【教材】 ・整理整頓：ワークシート ・掃除：洗剤、掃除用具 ・カラーコーディネート：有資格者による講演 ・インテリアコーディネート：有資格者による講演 【一人１台端末の活用】 パワーポイントの使用とチームスのフォームズによる課題提出	【知識・技能】 快適な住居を自分でコーディネートし、管理できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 インテリアに関して体験的に学習したり、有資格者による講演の中から得た知識を使って自分なりに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	10
	D.マイルーム制作 【知識及び技能】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を制作する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を自分なりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 今までの学習の中で取り込ませたいポイントを押さえさせながらマイルームの制作をさせる。 【教材】 マイルームの枠組みキット、布、紙粘土、ワイヤー、グリーン造花、ボンド、木材など 【一人１台端末の活用】 パワーポイントの使用とチームスのフォームズによる課題提出	【知識・技能】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を制作する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を自分なりに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	18
							合計 48

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和6年度　教科：　家庭科　　科目：食物Ⅱ

教　科：家庭科　　科　目：　食物Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座　2　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①真野田美子　②矢野裕子　③矢野祐子

使用教科書：（ なし　　）

教科　家庭科　　の目標：

【知識及び技能】人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付け

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　食物Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。	効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。	持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A　調理の基礎、食料自給率 ・計量 ・包丁の使い方 ・野菜の切り方 ・さつまいも栽培	・オリエンテーション ・大さじ、小さじ、すりきりベラ、計量カップの使い方 ・包丁の使い方・各部の名称 ・野菜の切り方 ・日本の食料自給率 ・さつまいもを植えるための畑の整備 ・秋に向けてさつまいもの植え付け	【知識・技能】 ・大さじ、小さじ、計量カップの使い方を理解している ・包丁の適切な扱い方を理解している ・料理に合わせて適切な野菜の切り方ができる ・日本の食料自給率について理解している 【思考・判断・表現】 ・調理に合わせて適切な調理器具を選択できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	8
	B　日本の食文化 ・日本の郷土料理 （調べ学習）	・日本のの食文化についての調べ学習、ポスター作成、発表、投票で選ばれた料理の調理	【知識・技能】 ・地方による食文化の違いを理解している ・地域による料理の成り立ちを理解している 【思考・判断・表現】 ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・ポスターを期限内に完成させている	○	○	○	10
	C　災害時の食生活	・災害時の調理事情 ・ポリ袋炊飯、調理実習	【知識・技能】 ・災害時の調理について理解している 【思考・判断・表現】 ・災害時の食生活について、自分で工夫して作ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲をもって実習に取り組んでいる	○	○	○	4
	D　日本の食文化 ・だしの取り方 ・日本の郷土料理	・和風だしの取り方 ・すいとん汁の調理 ・日本の郷土料理についての調べ学習、ポスター作成、発表、投票で選ばれた料理の調理 ・日本の食文化を代表するメニューの調理実習 （手打ちうどん、魚の献立、など）	【知識・技能】 ・和風だしの取り方を理解している ・地域による郷土料理の成り立ちを理解している 【思考・判断・表現】 ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・ポスターを期限内に完成させている	○	○	○	8

後期	E　地産地消 ・自家栽培したさつまいも料理	・春に植えたさつまいもを収穫して調理をする ・さつまいもご飯、豚汁の調理	【知識・技能】 ・さつまいもの調理性について理解している ・地産地消の大切さについて理解している 【思考・判断・表現】 ・調理に合わせて適切な調理器具を選択できている ・地産地消がなぜ大切ななのか考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	8
	F　世界の食文化 ・中国 ・西洋 ・タイ、インド	・洋食の調理実習 ・中華の調理実習 ・エスニックの調理実習 ・菓子の調理実習 ・世界の食文化についての調べ学習、新聞作成、発表、投票で選ばれた料理の調理	【知識・技能】 ・国による食文化の違いを理解している ・地域による料理の成り立ちを理解している 【思考・判断・表現】 ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・新聞を期限内に完成させている	○	○	○	2
	G　行事食 ・クリスマス ・正月 ・バレンタイン	・ブッシュドノエルの調理実習 ・雑煮の調理実習 ・ブラウニーの調理実習	【知識・技能】 ・行事食の歴史や意味を理解している ・卵の調理性について理解している ・チョコレートの調理性について理解している 【思考・判断・表現】 ・調理に合わせて適切な調理器具を選択できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	8
							合計 58

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和6年度　教科：　福祉　　科目：点字

教　科：福祉　　科　目：　点字　　単位数：　2　単位

対象年次・講座　２～４　　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①原田祐子　　②真野田美子　③松山葵

使用教科書：（ 視覚障害者介護技術シリーズ「初めての点訳」 ）

教科　福祉　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　高齢者や障がいのある人々など共に支え合って生きていることの意義について理解を深め、福祉に関わる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　福祉の視点から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を涵養する。

科目　点字　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。	視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。	授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	（1）点字の読み方・書き方	・点訳 ・点字器の使用 ・講師の話 ・VTR視聴 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	（1）点字の読み方・書き方	・点訳 ・点字器の使用 ・講師の話 ・VTR視聴 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	（2）視覚障がい者とは～障がい者の生活	・点訳 ・点字器の使用 ・講師の話 ・VTR視聴 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
後期	（2）視覚障がい者とは～障がい者の生活	・点訳 ・点字器の使用 ・講師の話 ・VTR視聴 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	（3）点訳ソフト・点図作成ソフトを用いた絵本の点訳	・絵本の点訳 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	（3）点訳ソフト・点図作成ソフトを用いた絵本の点訳	・絵本の点訳 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
							合計
							60

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　家庭　　科目：社会福祉

教　科：家庭　　科　目：　社会福祉　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　2～3　　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①太田礼子　　②真野田美子　　③谷口百仁加 ④

使用教科書：（ なし　　）

教科　家庭　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】　高齢者や障がいのある人々など共に支え合って生きていることの意義について理解を深め、福祉に関わる技能

【思考力、判断力、表現力等】　福祉の視点から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を涵養する。

科目　社会福祉　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉に関する知識を理解する。基本的な看護・介護の技術を身に付ける。	社会福祉について課題をみつけ解決しようとすることができる。	必要な準備を整え授業に参加し、意欲的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A　障がい者について知る ・ガイドヘルプ ・車椅子 ・自助具 ・片マヒ ・福祉用具	・視覚障がいの疑似体験 ・ガイドヘルプ実習 ・車椅子の介助実習 ・自助具の使い方 ・片マヒの場合の着替え実習 ・福祉用具の使い方	【知識・技能】 ・視覚障がい者について理解しており、適切な補助ができる ・車椅子の動かし方について理解している ・自助具の使い方を理解している ・マヒがある場合の着替え方法を理解し、適切に補助ができる ・福祉道具の使い方を理解している 【思考・判断・表現】 ・障がいに合わせて適切な補助ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	10
	B　高齢者について知る ・高齢者の食事 ・レクリエーション ・認知症	・高齢者の食事 ・レクリエーションについて ・認知症についての理解	【知識・技能】 ・高齢者の食事について理解している ・レクリエーションの方法を理解している ・認知症について理解している 【思考・判断・表現】 ・高齢者の接し方について考え、行動できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	14
	C　福祉の仕事について知る ・高齢者を支える仕事 ・福祉の仕事	・福祉施設について ・高齢者施設について ・福祉の職業について	【知識・技能】 ・福祉施設について理解している ・高齢者施設について理解している ・福祉の職業について理解している 【思考・判断・表現】 ・福祉の仕事について考え、自分なりの考えを持つことができている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	4
	D　ベッドでの介護について知る ・ベッドメイキング ・体位交換 ・体位変換 ・安楽な姿勢	・ベッドメイキング実習 ・体位交換実習 ・体位変換実習 ・安楽な姿勢についての理解	【知識・技能】 ・ベッドメイキングについて理解し、適切に行うことができている ・体位交換・変換について理解し、適切な方法を行うことができる ・安楽な姿勢について理解している 【思考・判断・表現】 ・どのような声掛けをするのが適切か考えて行動できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	16

後期	E　衣食住の介護について知る ・衣服着脱 ・食事の介助 ・嚥下食 ・清拭 ・排泄	・衣服着脱実習 ・食事の介助について理解する ・嚥下食実習 ・清拭 ・オムツ、便尿器実習	【知識・技能】 ・衣服着脱について理解し、適切な方法がとれる ・食事の介助について理解している ・嚥下食について理解している ・清拭について理解している ・オムツや便尿器の使い方を理解している 【思考・判断・表現】 ・どのような声掛けをするのが適切か考えて行動できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	12
	F　移乗について知る	・ベッドから車椅子への移乗実習	【知識・技能】 ・車椅子の動かし方について理解している ・マヒがある場合の補助ができる 【思考・判断・表現】 ・障がいに合わせて適切な補助ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	2
							合計
							58

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　福祉　　科目：手話

教　科：福祉　　科　目：　手話　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　1～4　　年次　① ② ③

教科担当者：①太田　礼子　②真野田　美子 ③成岡　美和④

使用教科書：（ 手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう　手話で話そう」　　）

教科　福祉　　の目標：

【知識及び技能】　高齢者や障がいのある人々など共に支え合って生きていることの意義について理解を深め、福祉に関わる技能

【思考力、判断力、表現力等】　福祉の視点から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を涵養する。

科目　手話　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聴覚障がいのある方のコミュニケーションツールである手話について、その表現の方法と意味を学び、手話表現の技術を身に付ける。	場面に応じた手話表現を自分で判断し、適切に表現することができる。	聴覚障がいの方の日常生活や困りごとについて知り、バリアフリーの視点やノーマライゼーションの理念を涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A手話への導入と簡単な手話表現 【知識及び技能】 手話とは何かその語源と成り立ちを学び、手話の表現を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指文字を覚えて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 視覚障がいのある方への理解を深め、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとする。	〈指導事項〉 ・手話とは何か、手話の語源と成り立ち ・自己紹介（名前、出身地、現在の住まい、趣味など） ・指文字の練習 ・数字の表し方（時間、人数、日付など） 〈教材〉 ワークシート、教科書、CLカルタ、試験問題など 〈一人１台端末の活用〉 動画視聴、チームズのフォームズによる文書作成	【知識及び技能】 手話とは何かその語源と成り立ちを学び、手話の表現を身に付けられた。 【思考力、判断力、表現力等】 指文字を覚えて、表現するころができる 【学びに向かう力、人間性等】 視覚障がいのある方への理解を深め、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとした。	○	○	○	20
	B手話の日常会話 【知識・技能】 手話の会話の仕方について、その表現方法の技能を理解し、身に付ける。 【思考・判断・表現】 場面に応じた適切な手話の表現方法を自分で考えて判断し、表出する。 【主体的に学習に取り組む態度】 視覚障がいのある方への理解を深め、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとする。	〈指導事項〉 ・手話の会話の仕方 ・短文、会話文の練習 ・疑問表現、都道府県、仕事で使う表現、時間の表現、曜日の表現、食べ物の表現、乗り物や旅行の表現、年中行事の表現、病院の表現など 〈教材〉 ワークシート、教科書、試験問題など 〈一人１台端末の活用〉 動画視聴、チームズのフォームズによる文書作成	【知識・技能】 手話の会話の仕方について、その表現方法の技能を理解し、身に付けることができた。 【思考・判断・表現】 場面に応じた適切な手話の表現方法を自分で考えて判断し、表出することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 視覚障がいのある方への理解を深め、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとした。	○	○	○	18

後期	B手話の日常会話 【知識・技能】 手話の会話の仕方について、その表現方法の技能を理解し、身に付ける。 【思考・判断・表現】 場面に応じた適切な手話の表現方法を自分で考えて判断し、表出する。 【主体的に学習に取り組む態度】 視覚障がいのある方への理解を深め、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとする。	〈指導事項〉 ・手話の会話の仕方 ・短文、会話文の練習 ・疑問表現、都道府県、仕事で使う表現、時間の表現、曜日の表現、食べ物の表現、乗り物や旅行の表現、年中行事の表現、病院の表現など 〈教材〉 ワークシート、教科書、試験問題など 〈一人１台端末の活用〉 動画視聴、チームズのフォームズによる文書作成	【知識・技能】 手話の会話の仕方について、その表現方法の技能を理解し、身に付けることができた。 【思考・判断・表現】 場面に応じた適切な手話の表現方法を自分で考えて判断し、表出することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 視覚障がいのある方への理解を深め、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとした。	○	○	○	30
	C手話歌 【知識及び技能】 今まで学んだ手話の技能や表現方法を使って、チームで協力して手話歌のオリジナル振り付けを行う。 【思考力、判断力、表現力等】 課題曲のイメージとマッチする手話表現を取り入れて振り付けをする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人たちと協働し、課題曲の振り付けを完成させようとする。	〈指導事項〉 ・手話歌の振り付け ・チームで手話歌の練習 ・発表会 〈教材〉 ワークシート、教科書、音源機材、プロジェクター、パソコン 〈一人１台端末の活用〉 動画視聴、チームズのフォームズによる文書作成	【知識及び技能】 今まで学んだ手話の技能や表現方法を使って、チームで協力して手話歌のオリジナル振り付けができた。 【思考力、判断力、表現力等】 課題曲のイメージとマッチする手話表現を取り入れて振り付けをした。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人たちと協働し、課題曲の振り付けを完成させた。	○	○	○	10
							合計 78

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　家庭　　科目：食物Ⅰ

教　科：家庭　　科　目：　食物Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座　２～４　年次　① ② ③

教科担当者：①柳井富由美　②柳井富由美　③原田祐子　④

使用教科書：（ なし　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】　人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付け

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　食物Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。	効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。	持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	（1）野菜の切り方 ・安全に気を付けて包丁を扱う	・調理実習 ・実験 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	（2）基本的な食品の扱い方 ・食品の特性を考慮して調理することができる	・調理実習 ・実験 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	（2）基本的な食品の扱い方 ・食品の特性を考慮して調理することができる	・調理実習 ・実験 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8

後期	（3）基本の調理操作 ・炒める ・煮る ・蒸す	・調理実習 ・実験 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	（3）基本の調理操作 ・代表的な和食・洋食・中華料理を作ることができる	・調理実習 ・実験 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整	○	○	○	14
	（4）栄養と食事 ・栄養バランスの良い献立を作成することができる	・調理実習 ・実験 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
							合計 60

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和6年度　教科：　家庭　　科目：被服

教　科：家庭　　科　目：　被服　　単位数：　2　単位

対象年次・講座　２～４　年次　① ② ③

教科担当者：①成岡美和　②原田祐子　③松山葵

使用教科書：（　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】　人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　被服　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ミシンやアイロンの準備、設定が一人で正しくでき、安全に使用できる。 ・手縫いの正しい方法を理解し、待ち針や裁ちばさみなどの裁縫道具を使って、基礎縫いや玉止めができる。	・課題を理解し自分で取り組むことができる。 ・実習に取り組む中で、正しい方法を身につけ、技能を再現し、応用することができる。 ・作品のプレゼンテーションで、自分の考えや体験を発表できる。	・持ち物や身支度など、授業に必要な準備を整えて、授業に参加できる。 ・分からないことは自分から質問をして、積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	１．手縫いとミシン縫いの基礎を正しく理解して、基礎縫いを行うことができる。	①手縫い 玉結び 玉止め なみ縫い 本返し縫い まつり縫い ②ミシン縫い 下糸をボビンに巻く 直線縫い 返し縫い 端ミシン	【知識及び技能】 ・手縫いとミシン縫いの違いを理解しており、各々の正しい縫い方ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	4
	２．甚平の製作（下衣） 手縫いとミシンを使って、下衣（パンツ）を縫うことができる。	①生地にアイロンをかける ②生地を切る ③縫い代の始末（ロックミシン） ④ポケット縫う ④ウエストの三つ折り ⑤裾の三つ折り ⑥股下にしつけをする ⑦股下を縫う ⑧裾を縫う ⑨股上を縫う ⑩ウエストを縫う ⑪ゴムを通す ⑫アイロンをかける ⑬下衣（パンツ）の完成 作品を提出する	【知識及び技能】 ・生地を適切に切り取ることができる。 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	16
	３．甚平の製作（上衣） 手縫いとミシンを使って、上衣を縫い始めることができる。	①生地にアイロンをかける ②生地を切る ③縫い代を始末（ロックミシン） ④ポケットを縫う ⑤背縫い ⑥裾を縫う	【知識及び技能】 ・生地を適切に切り取ることができる。 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	10

後期	４．甚平の製作（上衣） 手縫いとミシンを使って、上衣を縫い進めることができる。	⑦襟下を縫う ⑧襟付け ⑨襟付けの裏側をくけ縫いする	【知識及び技能】 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	12
	５．甚平の製作（上衣） 手縫いとミシンを使って、上衣を縫い終えることができる。	⑩袖口を縫う ⑪脇を縫う ⑫袖下を縫う ⑬紐を作る ⑭紐を縫い付ける ⑮アイロンをかける ⑯上衣の完成 　作品を提出する	【知識及び技能】 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	14

	6．巾着袋の製作	①生地にアイロンをかける ②生地を切る ③縫い代の始末をする ④脇を縫う ⑤入れ口の三つ折り ⑥紐を通す ⑦アイロンをかける ⑧巾着袋の完成 　作品を提出する ◆プレゼンテーション 自分の作品について、発表する。制作過程で気づいたこと、学んだこと、製作で気を付けたことなど。	【知識及び技能】 ・生地を適切に切り取ることができる。 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 ・プレゼンテーションで、製作実習を通して学んだこと、気づいたことを発表することができる。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りﾌﾟﾘﾝﾄ）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	2
							合計
							58

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　家庭　　科目：保育

教　科：家庭　　科　目：　保育　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　2　　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①成岡　美和　②座喜味　成子 ③原田　祐子④

使用教科書：（ 保育基礎　ようこそ，ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】　人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　保育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法，子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	子どもの発達 【知識及び技能】 ・乳幼児期の生理的特徴について理解する。 ・乳児期・幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特性について理解する。 ・子どもと大人ではもののとらえ方に違いがあることを知る。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全基地としての親の重要性について理解する。また，家族・きょうだい・友だちなどの対人関係と社会性の発達について考える。 ・乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいか考える。	・指導事項 乳幼児期の発育 乳幼児期の生理的特徴 乳幼児期の発達の特徴 保育の課題 ・教材 教科書、プリント、 保育人形等 ・一人１台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・乳幼児の発育や生理的特徴が大人とは大きく異なることを理解している。 ・発達の各側面における過程を理解している。 ・発達の過程で子どもができるようになることを，月齢や年齢に応じて挙げることができる。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育者として、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	○	○	○	12
	子どもの生活 【知識及び技能】 ・養護の必要性・目的を理解し，発達の段階に応じた適切な養護の方法を知る。 ・子どもを安全に養護するためのポイントや、注意点について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣を題材にした絵本などから、生活習慣の習得を促すにはどのような工夫が必要かを考える。・子どもの健康と安全について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	・指導事項 子どもの健康と生活 子どもの食事 子どもの衣類と寝具 子どもの健康と安全 ・教材 教科書、プリント、保育人形、 ベビー服、離乳食、寝具等 ・一人１台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。 ・子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもに起こりうる事故について、子どもの発達過程や生活の特徴を踏まえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの食生活や衣生活等に関心をもち、主体的に情報を収集しようとしたり、積極的に実習に参加したりしている。	○	○	○	8
	子どもの表現活動と保育技術 【知識及び技能】 ・子どもの表現活動についての理解を深め、適切にかかわるための技術を身につける。 ・子どもの看護についての理解を深め、健康・安全を守るための技術を身につける。	・指導事項 造形表現技術 言語表現技術 音楽表現技術 家庭看護技術 ・教材 教科書、プリント、折り紙 保育人形、絵本等 ・一人１台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・表現活動について、保育者として適切にかかわるための基礎的な技術を身につけている。 ・看護について、保育者として適切にかかわるための基礎的な技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者はどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 ・看護において、子どもの安全や心の状態に十分配慮し、かかわり方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育の技術に関心をもち、将来の職業を見据えながら、子どもの表現活動や健康・安全などについての理解を深めようとしている。	○	○	○	8

後期	子どもの保育 【知識及び技能】 ・保育環境の特徴や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の子どもや子育て家庭を取り巻く環境の問題、多様な保育のニーズに関する課題を知り、子どもの健やかな発達のための適切な保育環境について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの健やかな発達のために、保育者として適切な保育環境をどのように創意工夫していくべきか考える。 ・子どもの心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	・指導事項 ・教材 教科書、プリント、 保育人形等 ・一人１台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 ・子どもの心身の安定を図るために、保育者としての月齢・年齢に応じた適切なかかわり方を具体的に考え、意見をまとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育者として、子どもにとって適切な保育を行うためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組む姿勢が見られる。	○	○	○	6
	子どもの福祉 【知識及び技能】 ・子どもの福祉の理念について理解し，歴史的な経緯を知る。 ・児童福祉法や児童福祉関連施設の概要とその役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの福祉について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・障がいの有無や貧困・虐待、国籍の違いなど、多様な事情・背景をもつ家庭や子どもたちが十分な保育サービスを受けるために必要な施策を考える。	・指導事項 保育に見る児童観 児童福祉の理念と法規・制度 保育にかかわる仕事 ・教材 教科書、プリント、DVD等 ・一人１台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 ・児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にかかわる施設の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 ・すべての子どもが充実した保育を受けられるように、保育者としてできることを、個々の家庭の事情などにも配慮しながら具体的に考え、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育者として、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。 ・保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心をもち、自分で情報を収集しようとしている。	○	○	○	6
	子どもの文化 【知識及び技能】 ・子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活の実現のために果たす役割や意義、および近年の環境変化と課題について理解する。 ・子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの遊びについての課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・年齢に応じた子どもの発達を促すことに適した、具体的な遊び方を提案する。	・指導事項 子どもの文化の意義 子どもの文化を支える場 子どもと遊び ・教材 教科書、プリント、玩具 文房具等 ・一人１台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。 ・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 ・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を捉えている。 【思考・判断・表現】 ・おもちゃづくりなどの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。 ・現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な地域の遊びについて関心をもち、公園などの利用状況や、遊び場を支えるNPO法人などの活動について積極的に調べようとしている。	○	○	○	18
							合計 58

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　家庭科　　科目：手芸

教　科：家庭科　　科　目：　手芸　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　手芸　　年次　① ② ③

教科担当者：①太田礼子　　②太田礼子　　③谷口百仁加

使用教科書：（ なし　　）

教科　家庭科　　の目標：

【知識及び技能】　人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　手芸　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
手芸や洋裁の基礎、材料の取り扱いに関する知識と技術を習得し、簡単な手芸品を製作することができる。	各種手芸の技法を理解し、その特性を生かした手芸作品を創造的に製作し、計画的に製作をすすめることができる。	習得した技術を応用し、各自の生活で活用できる小物について考察することができる。また、服飾及び日常生活に活用することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	スウェーデンししゅうのコースター製作 【知識及び技能】スウェーデンししゅうの特徴や技法、ししゅう糸の扱い方、織目の数え方などを理解する。コースターに仕立てる方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】スウェーデンししゅうの特徴を生かし、ししゅう糸の色やステッチの組み合わせを考える。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行い、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果をみつける。	【指導事項】コースター製作 スウェーデンししゅうの特徴を生かしたデザイン、ししゅう、コースターに仕上げる。 【教材】スウェーデンクロス、ししゅう糸25番、スウェーデンししゅう針、ミシン糸、ミシン 【一人１台端末の活用】 スウェーデンししゅうの作品例やスウェーデンししゅうの特性や特徴を調べる。	【知識・技能】スウェーデンししゅうの特徴や技法、ししゅう糸の扱い方、織目の数え方などを理解している。糸のつれやゆるみがないか。 【思考力・判断力・表現力等】】スウェーデンししゅうの特徴を生かし、ししゅう糸の色やステッチの組み合わせられる。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力・人間性等】スウェーデンししゅうの特性に合わせた表現の工夫をし、製作に生かしている。授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	10
	刺し子のお弁当包み製作 【知識及び技能】刺し子の歴史、刺し子の縫い方、お弁当包みに仕立てる方法を理解する。玉止め、玉結び、ボタン付けを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行い、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果をみつける。	【指導事項】お弁当包み製作 布にプリントされた印の通りに縫い進める。糸のしごき方、縫う順番を理解する。お弁当包みに仕上げる。 【教材】刺し子ふきん布、刺し子糸、ボタン、ミシン糸、ミシン 【一人１台端末の活用】 刺し子の作品例や刺し子の特性や特徴を調べる。	【知識・技能】刺し子の歴史、刺し子の縫い方、お弁当包みに仕立てる方法などを理解している。糸のしごきを大切にし、糸のつれやゆるみがないか。 【思考力・判断力・表現力等】】計画的に製作を進める。 【学びに向かう力・人間性等】授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	16
	絞り染めのエコバック製作 【知識及び技能】絞り染の特徴や技法、絞り方による染め上がりの違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】染め上がりを想像し、デザインを決め、計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行い、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果をみつける。	【指導事項】絞り染めのエコバッグ製作 絞り方による染め上がりの違いを想像し、絞り染めの特徴を生かしたデザインを考える。 【教材】エコバッグ、白20番カタン糸、消えるマーカーペン、針、糸切ばさみ、染料、計量カップ、塩、ミカノール、ゴム手袋、はし、タイマー、ホーロー洗面器、中性洗剤 【一人１台端末の活用】 絞り染めの作品例や絞り染めの特性や特徴を調べる。	【知識・技能】絞り染めの主な種類と技法を理解している。糸をしっかり引き締め止めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】】染め上がりを想像し、絞り染めの特徴を生かしたデザインになっている。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力・人間性等】授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	12

後期	手縫いによる巾着製作 【知識及び技能】基本的な手縫いの技術（なみ縫い、まつり縫い、半返し縫い、曲線縫い）、紐通しなどを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】平面から立体になる過程を理解し、計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行い、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果をみつける。	【指導事項】巾着袋製作 基本的な手縫いの種類やそれぞれの縫い方、縫い上がりの特徴を理解する。日常生活のどの場面で活用できるか考える。 【教材】布、手縫い糸、ボタン、ひも、曲線型、定規、チャコペン、糸切ばさみ 【一人１台端末の活用】 手縫いのそれぞれの縫い方を動画で見ることで理解を深める。	【知識・技能】絞り染めの主な種類と技法を理解している。糸をしっかり引き締め止めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】】染め上がりを想像し、絞り染めの特徴を生かしたデザインになっている。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力・人間性等】授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	12
	羊毛ししゅうの壁飾り製作 【知識及び技能】羊毛ししゅうの特徴や技法、羊毛の扱い方、ニードルの使い方を理解する。壁飾りに仕立てる方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】羊毛ししゅうの特徴を生かしたデザインの工夫。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行い、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果をみつける。	【指導事項】壁飾り製作 羊毛ししゅうの特徴を生かしたデザインを考え、額縁に飾り、仕上げる。 【教材】羊毛、ニードル、フェルティング用マット、布、段ボール、ボンド、毛糸 【一人１台端末の活用】 羊毛ししゅうの作品例やニードルの使い方を調べる。	【知識・技能】羊毛ししゅうの特徴や技法、羊毛やニードルの扱い方などを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】】羊毛ししゅうの特徴を生かしたデザインになっている。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力・人間性等】授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	10
							合計 60